

フォローアップシステム登録者への受診確認の取組として本人からの自主申告を昨年度から導入し、自己申告による受診確認の割合が増加した。受診勧奨の取組として対象者の優先順位付けやマニュアル作成等、市町の活動促進を図っており、今後も取組を継続するとともに、肝炎対策新システムを稼働させ、医療機関からの受診勧奨も行い、フォローアップシステムを効果的に運用していく。

フォローアップシステム登録者

受診勧奨の取組

継続受診者

システム上、受診確認できない者

受診なし

受診（調査票あり）

受診（調査票なし）

受診

委託医

療 機 関

左記以外の医療機関

委託医療機関から
県へ診察報告

登録者から県へ自主申告
（二次元バーコード読み取り・電話）

受診確認の取組

年度	受診確認割合
令和6年度 (1月末時点)	30% (750人/2,539人)
令和5年度	38% (932人/2,484人)
令和4年度	33% (798人/2,405人)
令和3年度	32% (835人/2,572人)
令和2年度	38% (991人/2,626人)
令和元年度	31% (803人/2,594人)
平成30年度	32% (793人/2,488人)

+

受診確認割合
1.5% (37人/2,539人)
0.3% (7人/2,484人)

二次元バーコード読み取りや
電話連絡で受診確認できた登録者が徐々に増えている。

通知の趣旨を「調査」⇒「受診勧奨」に変更

受診状況調査

受診勧奨

県

受診情報提供
3年以上、受診確認できない者リストを追加（優先順位付け）

受診勧奨・保健指導
（第4次計画重点的取組）

市町

受診勧奨
マニュアル作成

受診勧奨

受診情報提供

医療機関

【予定】肝炎対策新システム稼働後は、患者ごとの最終受診医療機関を把握・管理し、当該医療機関へも受診情報を提供する。その上で医療機関からも受診勧奨を行っていく（第4次計画重点的取組）。